

一年を振り返って

刈谷市女性の会連絡協議会
会長 早川 一美

木々の芽吹きに春を感じる季節となりました。皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年度は「未来へつなげよう地域の和 ～今日からはじめよう私の防災～」をテーマに活動をしてまいりました。昨今の社会情勢では、日々の生活に追われる流れではございますが、地域の和を大切にする事により、次世代も安心・安全に暮らせる地域となると信じ、私達に何が出来るかを考えながら、1年間進めてまいりました。協議会の中でもお互いに助け合い、思いやり、笑顔を大事にしてきた事でとても有意義な時間を共有できたと自負しております。

このつながりを大切にし、これからもお互いの地域間での交流を深めてまいりたいと思っております。

一年間ご支援ご協力を頂きました関係各位、地域の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



貸衣裳室訪問 & 茶話会

9月4日(水)

刈谷市社会教育センターにて貸衣裳室訪問と茶話会を行いました。

貸衣裳室では、黒留袖、留袖リメイクドレス、モーニングの他、色留袖や礼服、さらに草履やバッグ、イヤリングやネックレスまで、沢山の衣裳や小物類をお値打ち価格でレンタルすることが出来ます。訪問時には、貸衣裳一覧アルバムを見せて頂き、試着体験や質疑応答を通じて是非借りてみたい!と思いました。



茶話会では主人役と客役を交代で行い、お抹茶を頂きながら交流を楽しみました。

議会傍聴

12月4日(水)

刈谷市役所にて刈谷市議会定例会本会議を傍聴して来ました。市民の代表である議員と刈谷市の質疑応答を傍聴し、私達にも身近な教育やスポーツについて、刈谷市がどう考えて施策を進めているのかを視ることが出来ました。

傍聴した案件以外にも、様々な施策があり、私達の住む刈谷市の目指す姿と現状に興味をもって、今後も見守る必要があると思いました。



赤十字奉仕団防災講習会

9/30(月)、10/3(木)、10/4(金)に北部、中部、南部に分かれて赤十字奉仕団防災講習会が行われました。

実践として、「ハイゼックス」という炊飯用の小袋に米と水を入れて鍋で茹で、お米を炊きました。

講習会では、避難袋の中身の紹介、新聞とゴミ袋を使用した自宅トイレの作り方、AEDの使い方、幼児安全法(子どもの見える範囲が分かるチャイルドビジョン)、風呂敷・レジ袋・ストッキングなどを三角巾の替わりに使用する救護法など、役立つ情報を教えて頂き大変勉強になりました。日頃の備えに活用していきたいと思います。



女性の会大会 2月5日(水)



総合文化センター小ホールにおいて開催し、稲垣市長はじめ多数のご来賓にご臨席賜りました。式典では青少年育成募金の目録贈呈や来年度の新役員紹介、連絡協議会および結婚相談室・貸衣裳室の事業報告、活動事例発表などを行いました。

また、椿佳代先生による「今の生活から、災害の備えにつなげる～被災後も家族が笑顔でいられるように～」をテーマに、普段の生活から無理なく災害に備えて家族の笑顔を守るための講演を聞きました。平時である今、いかに準備しているかが、発災時の快適さや生存率にまで影響があると知り、できることからすぐにやろうと思いました。当日は、関係各位ならびに各地区から大勢の皆様にお越しいただき、深く感謝申し上げます。

青少年育成募金

ご報告

募金総額

952,738円



皆様の温かいご支援をいただき

- 市内幼稚園・保育園・乳児園36施設
- 児童発達支援事業所8施設
⇒大型絵本・エプロンシアター
- 刈谷市内中学校特別支援学級30名
⇒腕時計を寄贈いたしました。

ご協力をいただきました地域の皆様、自治会関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

～編集後記～

【刈谷市女性の会連絡協議会】
ホームページも是非
ご覧ください
<https://kariyashijyoseinokai.com/>



女性の会の活動を通じて、「人が人を動かす」という事を実感する一年でした。親しい人からの呼びかけはあらゆる情報よりも伝わりやすいものです。スローガンの「地域の和」を広げる為にも、この学びを大切にしていきたいです。